



3期12年

いぬい 紳一郎

日本共産党市議会議員

市民の目線で不正追及

プロフィール 1954年福井県生まれ。中央大学法学部卒。代々木病院・東葛病院に勤務。この間、青年運動や労働組合役員として活動。現在、東葛健康友の会幹事。市議会議員3期。家族は妻と3女、三輪野山1192-2、tel 7159-2773

生活相談地域 三輪野山、下花輪、加、平和台、後平井、前平井、西平井、中、流山、南流山、木、鷺ヶ崎、宮園、思井、芝崎

「暮らしが苦しくなった」との深刻な声が寄せられています。いまこそ福祉を守る自治体の役割が求められています。私は、6歳まで医療費助成や国保料の減免制度、生活保護の改善など、市民運動とともに実現させてきました。これからも全力で働きます。

庶民増税中止

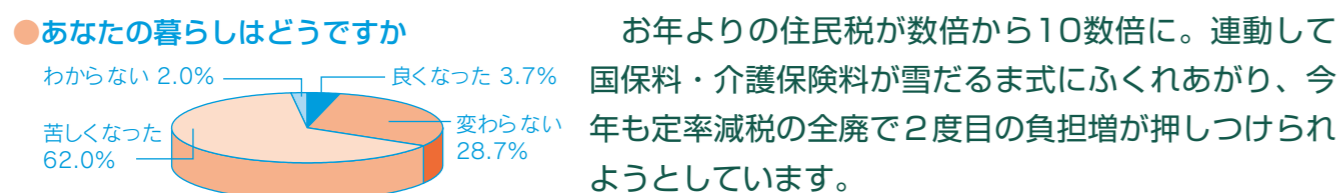
日本共産党

今こそ暮らしし守る市政を！

11億円もの市税の増税を「痛み」をやわらげるため使います

詳しくは次ページで

「収入はどんどん減って、税金はどんどん上がる…」市民アンケートより 共産党 庶民大增税おしつけた 自民・公明



どうしてこんな負担増に？

04年に自民・公明が強行した税制改悪で、「定率減税の廃止」「公的年金控除の縮小」「老年者控除の廃止」「高齢者の住民税非課税限度額の廃止」が高齢者におそいかかったからです。

流山市でもオール与党で 増税条例、国保・介護連続値上げ

日本共産党は、増税押しつけの「市税条例」の改悪にキッパリ反対。日本共産党以外は、「国の改正なのでやむをえない」と市民の痛みにも目くれませんでした。そのうえ、国保料、介護保険料の連続値上げにも、賛成しています。

Table with 2 columns: 賛成 (賛成) and 反対 (反対). 賛成: 自民・保守、公明、民主、社民の議員. 反対: 日本共産党の4議席.

市民負担増への態度は？

流山民報

2007年 2月号外

編集発行人 日本共産党流山市議団

流山市加4-1688 TEL/FAX(7157)6140 E-Mail:kfbkd645@ybb.ne.jp

市民の暮らし応援へ

市政を動かす 日本共産党の

4議席

6歳まで医療費助成を拡大

お母さんたちと協力してねばり強く

新婦人のみなさんの運動とむすんで、日本共産党は長年にわたり議会で取り上げ、発言回数もダントツです。その結果、06年8月から6歳まで医療費助成を実現させることができました。



「共産党にがんばってもらわないと」

不正を許さずチェック 議員の役割を発揮して

2億2千万円の第2庁舎建替えを落札した業者が、静岡県で贈収賄事件を起こし、各地で指名停止を受けていると、日本共産党が告発しました。全会一致で否決へ。自民・保守議員の口聞き「情報料1,500万円受領、税金滞納」という新聞報道に、日本共産党は、100条調査特別委員会を要求。あと一歩まで追いつめました。

市役所機能分散、学校移転

市の言い分をきびしく検証

落札業者の不正で議会が否決。ところが市長は、4千万円を使って役所機能を各公共施設に分散するといいました。危険性も緊急度も不透明、混乱を招くため、市民や職員の利便性を最優先すべきと再検討させました。小山小移転問題では、43億円はムダ使い。巨大道路では通過車両が増え、環境破壊と市の言い分を崩しています。



移転を強いられている小山小学校

「共産党の要請で創設した」 国保の減免制度 実現

日本共産党は、議案提出権を活用し、国保料引き下げを提案。毎議会引き下げと減免制度を要求してきました。「国保を良くする会」との交渉で、担当部長は「共産党の要請で創設した」ことを明らかにしました。



アンケート・議会質問・「流山民報」発行して40年

市民の願い「しっかり届け きちり報告」

日本共産党の市民アンケートに「私たちの声を聞いてくれてうれしい」との声が寄せられています。アンケートの声にこたえ議会で発言し、議会ごとに「流山民報」を発行して40年、152号になっています。



市民から寄せられたアンケート

「がまんは限界、何とかして」の声にこたえ 全力で市民の暮らしを応援します **日本共産党**

**これでいいのか
オール与党の
流山市政**

**『やむをえない』と国保・介護保険、
障害児施設利用料…次つぎ値上げ**

国保料は、公的年金控除の縮小で自動的に引き上がるのに、さらに値上げ条例で追い打ちをかけ、介護保険料は1人当たり10、569円もの値上げ。障害児施設「つばさ学園」の利用料も4、500円から28、700円に。延長保育も有料化。福祉を切り捨てるオール与党です。



すすんだ施策バツサリ

**市直営学校給食
老人入院見舞金まで**

80年代、政府の学校給食の民間委託化の号令に、流山市では、お母さんたちと日本共産党が力を合わせ、市直営の中学校給食を実現してきました。それを南流山中学校から順次民間委託化へ。お年よりの医療費有料化が導入された時、せめて入院見舞金と実現した制度も切り捨ててしまったのです。

**市民には「痛み」押しつけ
一方で 見通しない巨大開発に大盤振る舞い**

**つくばエクスプレス
沿線開発に600億円**

新線沿線巨大開発は、流山市区域だけで600億円投入。これは総事業費の3割台で、開発面積の1割にすぎません。都市再生機構が平成25年度で撤退を通告。市が受け継げば、さらにつけが市民に押しつけられます。緑をばざとり「グリーンチェイン」とは、「だまされない」「今住んでいる地域をよくして」が市民の声です。市長とオール与党の責任は重大です。



荒涼としたおおたかの森駅周辺

**43億円
PFI事業
学校を墓地に移転
静かな住宅地に
巨大道路**

駅前小学校はじゃまもと小山小学校を墓地に移転。43億円かけて学校と福祉会館の「ハコ物」計画が急浮上。さらに幅32mもの道路を静かな住宅地に貫通させるといいます。子どもを開発の犠牲にし、きれいな空気を奪う計画は許せません。

**出張所も循環バスも
身近なサービスから撤退**

初石と八木出張所が廃止され、おおたかの森駅前への統合で賃料が80万円から2、300万円へ。新たにできる大規模商業施設を利用させるのが狙いです。

公共施設間循環バスの廃止に、多くの市民が怒りの声をあげました。いまのぐりんバスは、駅を中心にしたルートに変えてしまったのです。



3月12日で廃止される初石出張所

『公立の役割は終わった』と

**公立幼稚園廃止
小学校(小山小)まで民営化**

自民・保守派議員は、「負担が大変ならば働けばいい。公立はいらない」と、「公立幼稚園の存続を求める陳情」1万7千名のお母さんの署名に背をむけました。小山小学校を墓地のところに移転。建物解体、建築、維持管理、給食も企業主導で行うことを日本共産党以外の議員がすすめています。



H19年度に廃止される東幼稚園

**税金の使い方変え
切実な願い実現します**

お約束します

- 1 庶民から取り立てた増税分を市民に還元します。**
 - 小学校卒業まで医療費助成を拡充します。
 - 国保料と介護保険料・利用料を引き下げます。
 - 障害者への応益負担をやめ、負担軽減をします。
 - 2 どの子にも行き届いた教育、安全・安心の学校をめざします。**
 - 少人数学級、教室にクーラー設置、市直営の学校給食を守ります。
 - 学校の耐震改修の促進、修繕費などの充実をはかります。
 - 小山小学校の墓地への移転・PFI（民間主導）事業をやめさせます。
 - 3 巨大開発を見直し、その財源で市民の暮らし・福祉優先にぎりかえます。**
 - つくばエクスプレス沿線巨大開発の残事業費は1,600億円余。無謀な計画は根本から見直し、巨大開発と巨大道路はもうストップをかけるときです。
 - 今住んでいる地域への公共下水道の整備を優先させます。
 - 生活道路のデコボコ解消、歩道の整備など安全対策をすすめます。
 - ぐりんバスを市役所など公共施設循環に拡充させます。
- ◎ トップダウン、押しつけ政治ではなく、市民の意見を聞く市政への転換を



憲法を生かし、暮らしと平和を守ります

アメリカと一緒に戦争ができる国へ、憲法を変える動きが強まっています。しかし、世界の流れは、国連を中心とした平和の流れが主流です。憲法9条は、世界に誇れる日本の宝です。日本共産党は、「9条の会」の運動とともに、平和な日本を守ります。